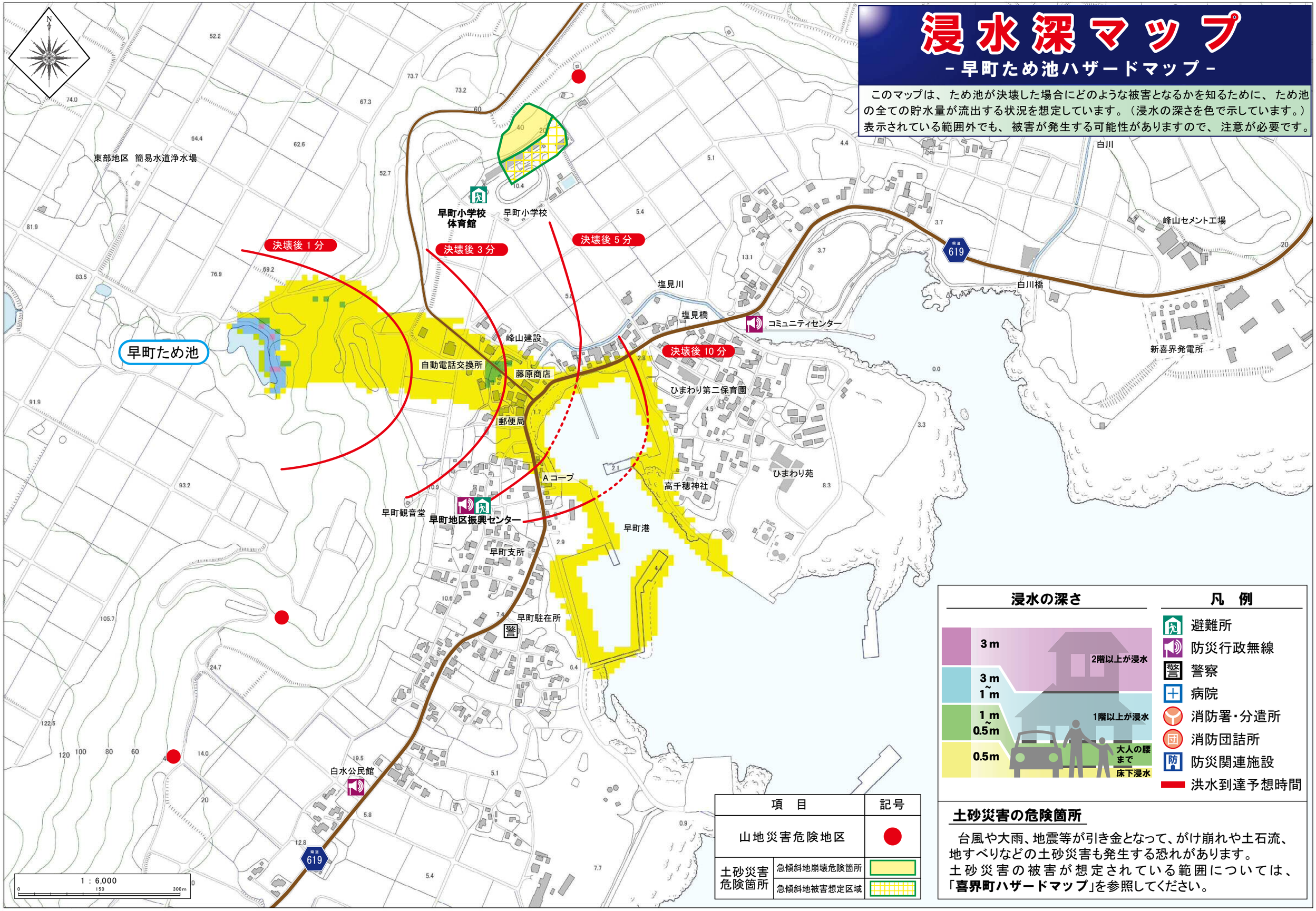
浸水深マップ

－早町ため池ハザードマップ－

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池の全ての貯水量が流出する状況を想定しています。（浸水の深さを色で示しています。）表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



項　目		記号
山地災害危険地区		●
土砂災害危険箇所	急傾斜地崩壊危険箇所	
	急傾斜地被害想定区域	

浸水の深さ

凡　例

- 避難所
- 防災行政無線
- 警察
- 病院
- 消防署・分遣所
- 消防団詰所
- 防災関連施設
- 洪水到達予想時間

土砂災害の危険箇所

台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害も発生する恐れがあります。
土砂災害の被害が想定されている範囲については、「**喜界町ハザードマップ**」を参照してください。

喜界町早町ため池ハザードマップ

【問合せ先】 喜界町農業振興課　0997-65-3689

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊するおそれのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するもので、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上を図るとともに災害時における被災の低減を目的としています。

■ため池決壊について知ろう

大雨 → ため池の水位が上昇し堤防を越流したり、堤防が不安定な状態になり、ため池が決壊する危険性が高まります。

地震 → ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。

■町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

●避難情報には緊急度に応じて3つの種類があります。

危険度	種類	発表時の状況	みなさんがとるべき行動
低	避難準備 高齢者等避難開始	地域または土地、建物などに災害が発生するおそれがある状況です。	いつでも避難ができるように、非常持ち出し品の用意や家族との連絡など避難準備を始めてください。特に、避難行動に時間を要する人は、避難所などの安全な場所へ避難行動を開始してください。
	避難勧告	地域または土地、建物などに災害が発生する可能性が高まった状況です。	家族や隣近所で助け合いながら計画された避難所などへの避難行動を開始してください。
高	避難指示	状況がさらに悪化し、避難すべき時期が差し迫った場合、または災害現場に残っている住民がいる場合に発表します。	ただちに避難をしてください。避難が遅れた場合は、近くの高くて頑丈な建物へ避難してください。

防災行政無線　サイレン・鐘　広報車　有線放送　テレビ・ラジオ　メール・ホームページ　等

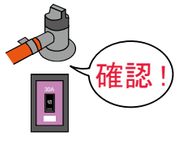
↓

住民のみなさん

■避難行動の心得を確認しよう

避難する前に

ガスの元栓・電気のブレーカーをチェック



避難は徒歩で

決められた避難所へできるだけ集団で避難
非常時持ち出し品を忘れずに

協力し合って

避難するときは、近所のお年寄りや障がい者などに声かけ協力

安全なルートで①

避難するときは、地すべりやがけ崩れなど土砂災害のおそれのある箇所は避ける

安全なルートで②

避難するときは、高い道路を選び、水路などに十分注意

NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音　171 + 1 + 被災地の方の電話番号 → 録音

伝言の再生　171 + 2 + 被災地の方の電話番号 → 再生

■避難勧告等がだされたら速やかに避難しよう

必ず安全な場所に避難する

3m 以上の浸水

- 2 階以上が浸水
- 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m ～ 3m 未満の浸水

- 1 階が浸水
- 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m 未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のヒザ程度
- 浸水の深さがヒザ上になると、歩行は危険

→ **浸水しない場所**

- 安全な場所へ移動する
- 水平避難

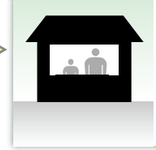
必ず

→ **2 階以上の建物**

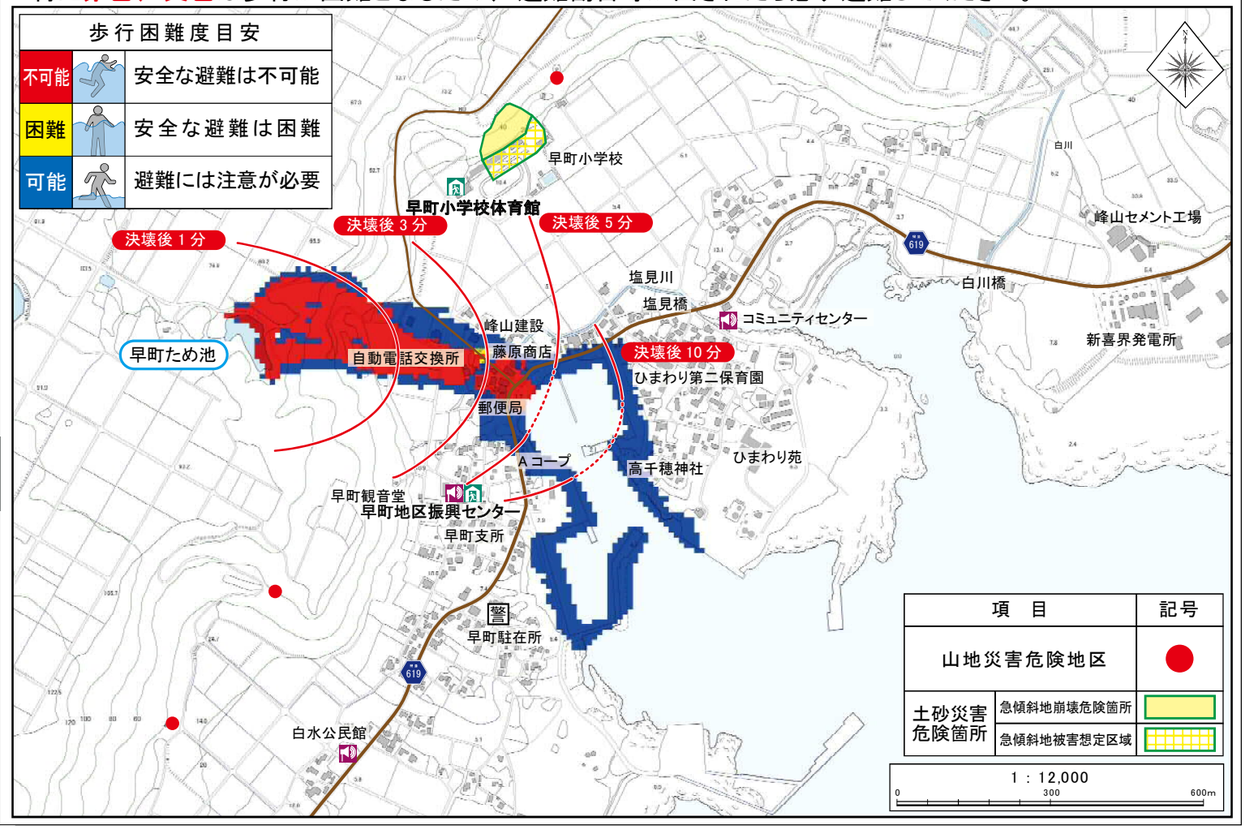
- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

避難が遅れた場合は・・

→ **自宅にとどまる**



- むやみな移動はかえって危険
- 屋内待機

■歩行困難度を確認しよう

●浸水の深さと流速の関係から、「歩いて避難することが困難な場所」を示しています。
特に赤色、黄色は歩行が困難となるため、避難勧告等が出されたら必ず避難してください。